

【団体名（市町村名）】

北海道はまなす食品株式会社 代表取締役社長 佐藤 靖史（北広島市）

<https://h-hamanasu.jp/>

【概要（事業内容）】

- 平成5年設立。
- 納豆製造及び包装パック事業のほか、知的障がい者の職業訓練を行う能力開発センターを運営。
- 納豆製造事業は、原料の仕入から生産・出荷まで対応。自社ブランドのほか、コープさっぽろブランドや業務用などを製造。コープさっぽろの店舗や宅配「トドック」で販売するほか、首都圏のスーパーでも販売。近年輸出にも注力。
- 包装パック事業は、食品企業や生産者との連携して、珍味、豆菓子や切干大根などの原料を仕入れ、それを小分け包装し製品化。商品はコープさっぽろの店舗や宅配「トドック」で販売。



パートナー同士のピッキング



親子納豆教室の実施状況

【人材育成の取組】

1. 人材育成の方針

- 障がい者従業員の職域拡大や雇用拡大に積極的に取り組んでいる。
- 具体的な指導・支援の方法として、マニュアルや表示物の活用、治具の活用やマンツーマンの指導などを実施。
- 新たな分野の仕事に挑戦させる場合、事前に本人と面談の上、その意味や指導方法などについて説明の上、ジョブコーチを中心に社内で共通認識を持つこととしている。
- 能力開発センターでは、包装食品製造を通じて1年間の訓練を行い、就労できる身体的・精神的な忍耐力や基礎的な作業能力・社会適応能力を身に付けさせ、知的障がい者の職業的自立を目指している。

2. 能力開発制度、技術認定制度

- 従業員に対し、取得にかかる経費は会社が負担し、障がい者職業生活指導員や企業在籍型ジョブコーチの資格を積極的に取得させるなど支援体制の充実に努め、他の道内企業に例をみない取得者数を擁している。
- 障がい者の向上心やモチベーションを喚起するため、スキルマップによりそれぞれの者が何ができて、何を頑張らなければならないか「みえる化」したほか、2018年度から「契約社員登用制度」を創設。現在まで2名の障がい者を契約社員へと登用している。

3. 次の時代の産業の担い手の育成

- 小学生を対象とした「親子工場見学」を実施するほか、自宅で納豆づくりの疑似体験ができる「納豆製造キット」を販売するなど、食品づくりへの関心を高める取組を積極的に展開している。

【メッセージ】

- 弊社工場では、健常者と障がい者が一緒に働き、納豆のほか、珍味、豆菓子、ナッツ、ドライフルーツや切干大根などの小分け包装を行っています。
- これまで、能力開発センターでは26期に渡り210名の訓練修了生を輩出していますが、コープさっぽろをはじめとする多くの企業に就職しています（修了時の就職内定率は累計で96.2%）。
- 今後とも、私たちは、美味しく安全・安心な商品をお客様にお届けするとともに、障がい者の方々の自立をサポートするという社会的使命を果たすため、最善を尽くしてまいります。